

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
選択科目	2単位	日本の教育	高山 有紀	1年次	秋

授業のキーワード	公教育制度 子どもの荒れ 教育改革
授業の概要	各種教育機関（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、短大）において問題化しているテーマを中心に、次代を担う子どもや若者に大きな影響を及ぼす、教育の現状について学びます。
期待される学習成果（目標）	①教育に関わる基本用語の意味を理解できるようになります。 ②自身の被教育体験と、社会の動きの関係について知ることができます。 ③今後の学校教育のあり方について、あなたなりの意見を持つことができます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	はじめに	授業の進め方について説明を行います。	第9講	中学校③	キャリア教育を含め、中学校をめぐる新しい動きについて考えます。
第2講	幼児教育	幼稚園、保育園をめぐる問題と幼児教育の実情について学びます。	第10講	中間のまとめ	前講までの学習内容をふまえ、義務教育の意義について意見を出し合って考えます。
第3講	幼児教育	幼稚園、保育園をめぐる問題と幼児教育の実情について学びます。	第11講	高等学校①	中高一貫教育のメリット・デメリットについて学び、中等教育の意義について考えます。
第4講	小学校①	主として小学校で問題化している学級崩壊やいじめについて考えます。	第12講	高等学校②	高校改革の動きについて学び、中等教育の意義について考えます。
第5講	小学校②	新学習指導要領を通して、今後の小学校教育について考えます。	第13講	大学①	大学の大衆化を受けた、大学改革の動きについて学びます。
第6講	小学校③	学校選択制や小中一貫教育など、小学校をめぐる動きについて考えます。	第14講	大学②	短期大学の歴史を振り返り、今後の高等教育の意義について考えます。
第7講	中学校①	主として中学生で問題化している、不登校や子どもの「荒れ」について考えます。	第15講	まとめ	本講での学習内容を総括します。
第8講	中学校②	学力低下問題など、中学校をめぐるさまざまな問題について考えます。	定期試験		授業で学んだ教育問題をひとつ選び、その問題の実態や改善方法等についてレポートを作成してもらいます。
評価方法		授業への取り組み（リアクションペーパーの内容を含む）20%、試験80%（定期試験、ミニテスト）			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布します。			尾木直樹『子ども格差 一壊れる子どもと教育現場一』（岩波新書） 市川伸一『学力低下論争（『ちくま新書』） 本田由紀『学校の「空気」』（シリーズ若者の気分） 岩波書店		